

晩秋の窗外

校長 三輪 秀文

着任してから、7ヶ月半が過ぎました。早かったとも思えるし、ようやくここまで来たのかと思えないこともない複雑な心境です。この間、春、夏、そして秋を経て、校長室の窓からの風景もずいぶん様変わりしてきました。朝夕はめっきり冷え込むようになり、11月に入ってからは、登校時の生徒の大半はマフラー姿で、あんなに暑かった夏がうそのように思えてきます。



冬の陽射しと戯れる生徒

最近では、初冬の陽射しを求めてでしょうか。休み時間になると、昇降口付近で野球のようなゲームに興じる1年生の元気な姿を見ることができます。それは、校長室の窓からも、よく見えます。多いときは、10人を超えることもあります。授業の合間の寸暇を惜しんで、夢中になって遊んでいる光景は、とてもものどかなものです。



紅葉した花水木

さて、四中のことを、保護者や地域みなさんに知ってもらおうと始めたホームページですが、最近ではアクセス数が、多い日には100件を超えることもあります。本校に関心を持っていただき、ホームページを開いてもらえることは、大変うれしいことであり、ありがたいことでもあります。

そのトップページを飾っていた花水木や桜といった花々の画像も、季節がら、ちょっと不釣り合いになってきたこともあり、少しアレンジすることにしました。

トップページはトレードマークのようなものですから、四中のホームページが定着するまでは、替えてしまうことにためらいがありました。でも、こんなにアクセスしていただいていることもあり、ちょっと季節感を出してみることにしました。

教室棟を背景にした花水木の大きな画像はそのままですが、下の三枚を、チューリップと桜から、正門で生徒を迎えてくれた築山の晩秋の画像に替えてみました。それに、校舎を背景にすっかり紅葉した木々の画像を選んでみました。実にきれいに色づいています。今年の紅葉は、様々な気象条件が重なって、ことのほか鮮やかだということを聞きましたが、本当に見事です。

夏にホームページで紹介した深紅の花をつけたサルスベリも、その花に勝るとも劣らず、葉っぱも鮮やかに色づいています。画像だけを見ると、花をつけた盛夏のサルスベリと見紛うかもしれませんが、歴としたサルスベリの紅葉です。そして、右側の画像が、名前の通りに紫色の実をたわわにつけた清楚なコムラサキです。



清楚なコムラサキ

このように、トップページの画像を替えてみましたが、これからも変わりなく、生徒や保護者をはじめ、地域みなさんに、四中のホームページをご覧いただけることを心より願っております。